

開講年次・時期	1年後期	授業回数	7回	時間数	15時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA120	科目名	あけのほし学 ゴードンメソッドによるコミュニケーション学	担当者名	長尾 慶子
授業の概要	○ゴードンメソッドによるコミュニケーション学を講義やロールプレイ、グループワーク等で実践的に学ぶ。 ・企業人・保育士・介護士に必要なコミュニケーション能力の基礎を身につける。				
科目の到達目標	○ゴードンメソッドについて以下の項目を理解するとともに、ロールプレイやグループワークに積極的に参加し、実生活で実践してみようとする意欲を持つ。 ・コミュニケーションの仕組み、コミュニケーションをはばむ接し方 ・「行動の四角形」、「能動的な聞き方」、「わたしメッセージ」 ・「効果的な対立の解き方」他				
DPの観点	③意欲・継続力 ⑤コミュニケーション能力 ⑧社会性				
授業時間外学修 (予習・復習)	学習した「能動的な聞き方」や「わたしメッセージ」等を実生活で実践し、次回の授業で感想を話す。 ・毎回の授業について、事前準備および授業後のまとめとして、一時間程度の準備時間を設けること。				
フィードバックの 方法	毎回、授業でフィードバックシートを配布・回収を行う。				
単位認定の要件	・ロールプレイや、グループワークに積極的に参加する。・実践したことをやその感想を発表する。 ・毎時、振り返りシートを記入し提出する。				
評価の方法・割合 (%)	・参加態度 40% ・実践したことの発表 30% ・振り返りシートの記入・提出 30%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			ゴードンメソッドとは ・ゴードンメソッドの概要、コミュニケーションの仕組みについて理解する	③意欲・継続力	講義、グループワーク、ロールプレイ
2			能動的な聞き方1 ・能動的な聞き方について理解する。	⑤コミュニケーション能力	講義、グループワーク、ロールプレイ
3			能動的な聞き方1 ・能動的な聞き方を練習し理解を深める。	⑤コミュニケーション能力	講義、グループワーク、ロールプレイ
4			わたしメッセージ1 ・わたしメッセージについて理解し、ロールプレイやグループワークで練習する。	⑤コミュニケーション能力	講義、グループワーク、ロールプレイ
5			わたしメッセージ2 ・色々なわたしメッセージを知り、練習して理解を深める。	⑤コミュニケーション能力	講義、グループワーク、ロールプレイ
6			対立を解く効果的な方法 ・効果的な対立の解き方や「介入的援助」を知り、練習する。	⑤コミュニケーション能力	講義、グループワーク、ロールプレイ
7			まとめと復習 より良い援助者として ・ビジネスにコミュニケーション能力を身につける・保育・介護の専門家としてより良い援助をするためのコミュニケーションについて理解する。	⑧社会性	講義、グループワーク、ロールプレイ
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末試験					

使用テキスト	親業訓練ミニ・レクチャー『自己表現手帖』親業訓練教会出版 390円
参考文献 参考URL	『親業(PET)』トマス・ゴードン著(大和書房)、『教師学一心の絆をつくる教育』近藤千恵著(親業訓練教会刊)
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働性⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性 ⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--